

今年度の課題を視察 委員会県内研修報告

各常任委員会は、県内の先進市を訪問し、視察研修を行いました。

民生常任委員会

平成21年11月13日、あいち健康プラザ「健康開発館」で各種健康教室について、東海市子育て支援課で保育園園庭芝生化事業について、視察研修を行った。

まず健康づくり副センター長兼健康開発部長、津下医学博士の講義を受け、施設を視察した。人生80年時代を心身ともに健やかに充実して生きていくことができる長寿社会をめざし、科学的根拠に基づく質の高い健康づくりを提供する「健康開発館」は、20年度に10万4千人の利用者があった。立派な施設が身近にあり、指導者の要請、施設の利用等も可能であり、本町の健康づくり提案をしていきたい。

東海市子育て支援課では、



名和保育園で園庭芝生を視察



あいち健康プラザ「健康開発館」にて

「保育園園庭の芝生化事業について」の説明を受け、名和保育園の園庭芝生を視察した。芝植えは、鳥取方式（ポット苗移植法）を採用。芝生を貼るのではなく、田植えのようにポット苗を50cm間隔に植え、雑草を取り除かず一緒に刈り込むことで、維持管理の手間を省き、低コストでの整備が可能な方式だ。植え付け作業・維持管理等は、園、保護者、地域の協働で進めている。園長より園庭芝生による効果、保護者からも評判は良いと説明を受けた。園児が元気に芝生園庭を走り回る笑顔を見て、成果を実感したとのこと。費用は4園で700万円（6400㎡）。残り14園も芝生を「さつき福祉会」に依頼し、芝生園庭事業を実施予定と聞いた。芝生化を検討する際に参考にしたい。

（民生委員長 近藤鏡治）

総務常任委員会

平成21年11月13日、視察先を七宝町の「七宝・美和・碓目寺町合併協議会」および北名古屋市の「健康ドーム」とし、視察研修を行った。

まず七宝町役場で「七宝・美和・碓目寺町合併協議会」の説明を受けた。概要は新市名「あま市」、合併予定日は平成22年3月22日。事務所の位置は現美和町役場。議員定数は26人など。合併までの経緯は紆余曲折があったが、周辺の愛西市、清須市、弥富市が誕生した影響が大きい。合併は各市町の首長の強いリーダーシップが最大要因で協議が整ったと伺った。視察のポイントであった合併のメリットについては、現在の住民サービスを維持するためであると



七宝町で合併協議会の説明をうける



北名古屋市の健康ドームにて

の説明が印象的であった。「健康快適都市」を掲げる北名古屋市では、体育館、トレーニングジム、サウナ付風呂など多様な機能を盛り込んだ健康ドームについて視察した。いこまい館の管理運営に参考になるノウハウを学ぶ目的で研修に臨んだ。当初は、体育施設の建設が目的であったものが、子育て支援や健康増進を含めた健康ドームとして完成したと伺った。

NPO法人を指定管理者とし、理事長以下役員が無報酬であることには驚いた。当然、管理委託料のうち人件費が少なくなるわけで住民の評価が得られるものと感じた。低コストで公共施設を管理運営するため多様な検討が必要であると認識し研修を終えた。

（総務委員長 箕浦克巳）